

2015年 2月 12日

新宿区長 あて

法人名 (特) あそびと文化のNPO

新宿子ども劇場

所在地 新宿区北山伏町2-17

ゆったり～の共同事務所

(フリガナ) ノリマツ ヨシミ

代表者氏名 乗松 好美

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	文化で地域づくり アートの花を (新宿フィールドミュージアム 2014)
実施日時又は期間	実行委員会 (計28回) 2014年3/19～12/13 ワークショップ (計3か所4回) 2014年10/12、19、11/3 公演 (計5か所6回) 2014年11/2、3、16、23、24
対象者の範囲 及び人数	新宿区および近隣地区 0才～高齢者 のべ1,184名
事業内容	新宿区内5つの地域(落合・淀橋・牛込・戸塚・四谷地域)で地域実行委員会を組織し、目的、対象、コンセプト(地域の大人が子どもたちへ劇をプレゼントする)を確認し、各地域の実情に合わせながら11月の公演にむけて計画、広報、当日運営、まとめまで地域の理事を中心に実行委員会が責任をもって行った。 「文化で地域づくり アートの花を プロジェクトのサポーター募集」(以下『サポーター募集』)として子どもたちに文化体験が必要であるというプロジェクトに賛同しサポートして下さる地域の方々を募った。 「新宿フィールドミュージアム2014」(文化月間)の10月、11月を中心に5地域での文化体験活動のワークショップ、公演を行った。 公演は「全ての子どもたちに文化体験を!」と願い、地域貢献を念頭に、子どもに対しては無料で参加できる、すべての子どもに考慮した環境づくりをした。

<p>具体的な活動状況</p>	<p>●実行委員会（計 33 回・のべ 259 名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全 体 6/14・7/12・9/9・10/7・12/13 計 5 回 参加者のべ 65 名 ・落合地区 5/17・6/20・9/11・9/18・10/31 計 5 回 参加者のべ 17 名 ・淀橋地区 4/30・6/29・8/5・9/23・10/12・10/25 計 6 回 参加者のべ 35 名 ・牛込地区 6/20・7/13・7/28・9/21・11/3 計 5 回 参加者のべ 27 名 ・戸塚地区 3/19・5/30・7/20・9/7・10/22・11/8 計 6 回 参加者のべ 68 名 ・四谷地区 5/5・6/27・7/1・9/10・10/14・11/18 計 6 回 参加者のべ 47 名 <p>●ワークショップ（計 3 か所 4 回 のべ 116 名 大人 51 名 子ども 65 名）</p> <p>【淀橋地区】 10/12 「おとなのためのよみかたり」 西新宿シニア活動館 参加者：25 名（大人 25 名）</p> <p>【牛込地区】 11/3 「オリジナルロゼットブローチづくり」 ゆったり～の 参加者：18 名（大人 5 名 子ども 13 名）</p> <p>【四谷地区】 10/19 「たかお晃市の マジック教室」 2 回 四谷地域センター 参加者：73 名（大人 21 名 子ども 52 名）</p> <p>●公演（計 5 か所 6 回 のべ 809 名 大人 414 名 子ども 395 名）</p> <p>【落合地区】 11 月 2 日「COINN 魔法の音楽隊」 聖母ホーム 参加者：136 名（大人 81 名 子ども 55 名）</p> <p>【淀橋地区】 11 月 3 日「おはなしポロロン 徹の部屋 2014」 エコギャラリー新宿 参加者：68 名（大人 44 名 子ども 24 名）</p> <p>【牛込地区】 11 月 16 日「ムーラのひとりサーカス」 2 回 牛込箆笥地域センター 参加者：162 名（大人 80 名 子ども 82 名）</p> <p>【戸塚地区】 11 月 23 日「和太鼓だよ！全員集合！！」 新宿NPO協働推進センター 参加者：244 名（大人 130 名 子ども 114 名）</p> <p>【四谷地区】 11 月 24 日「スマイル ア ゴーゴー」 新宿区立四谷小学校 参加者：199 名（大人 79 名 子ども 120 名）</p>
<p>事業の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・25 年度事業を継続し「全ての子どもたちに文化体験を！」をめざして、区内 3 か所（淀橋・牛込・四谷）の地域計 4 回のワークショップと公演を 5 か所（落合・淀橋・牛込・戸塚・四谷）の地域計 6 回を実施、のべ 925 名（子ども 460 名）の方が参加した。 ・継続して活動してきたことで、実行委員がより地域の課題を的確にとらえ、事業を開催するだけでなく、文化活動を通じた地域づくりの活動へと広がりが見えてきた。 ・動員力や広報の弱かった淀橋地区では多世代を巻き込むため、シニア世代対象にワークショップ「おとなのためのよみがたり」を開催。体験することで子どもたちへの文化活動に関心を持ってもらうことができた。公演会当日は参加したシニア世代と子育て世代が、共有共感する様子が見られた。前年度会場設営が課題であった同地域で、エコギャラリー新宿の協力が得られたことは、地域の方にも建物自体の有用性を示し、今後の活動拠点が得られた。 ・牛込地区では、去年は会場の収容人数の関係ですべての希望者に観劇してもらえず反省点であったが、午前・午後の 2 回公演に回数を増やすことで、希望者全員に見てもらえることが可能になった。 ・地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントするコンセプトの趣旨が伝わりにくかった前年度の反省から『サポーター募集』チラシを作成した。実行委員が地域の方に活動の主旨を説明し、結果 68 組のサポーターの方から 125,000 円の支援が受けられた。継続的に子どもたちの文化体験が大事だと

	<p>思う大人を増やし、子どもたちが安心して生活できる街づくりを目指していく一助となり、資金調達に向けての手ごたえを感じた。</p> <ul style="list-style-type: none">・プロジェクトを進める上で、新宿区のNPO活動助成金事業、また「新宿フィールドミュージアム 2014」に登録することは、地域の方への信頼も得られ、四谷地域では町会連合会でチラシを配布、町会掲示板への掲示協力が得られ、2件掲示板を見て参加した親子がいた。戸塚地域でも町会を通じて戸別配布で2家族の参加があるなど文化活動を通して地域の持つ人的、物、アイデアが生かされ子どもの生活圏で文化体験を創り出し、積み重ねて行くことの大切さ、地域のコミュニティーづくりに有効であることの実感が得られた。
--	--

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			355,153 円
	参加費・資料代等	ワークショップ参加費 28,000 円 チケット 310,000 円		338,000 円
	その他の収入	サポーター		125,000 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		500,000 円
	計			1,318,153 円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	42,810 円	実行委員会会場費 5,400 円 ワークショップ会場費 8,800 円 公演会場費 27,600 円 資料コピー代 1,010 円	
	宣伝費	51,292 円	チラシ（5公演+3ワークショップ）40,022 円 チケット・パンフレット 11,270 円	
	リース費	9,720 円	ムーラのひとりサーカス 音響・照明レンタル代	
	消耗品費	28,394 円	封筒 1122 円 付箋、ラミネート等 5,736 円 チケット用紙 9,681 円 養生テープ、靴袋 4,187 円 プリンターインク 7,668 円	
	謝礼	578,000 円	ワークショップ講師謝礼 80,000 円 公演講師謝礼 340,000 円（30,000 円×11名+10,000） 公演スタッフ謝礼 75,000 円（3,000 円×5名×5か所） ワークショップスタッフ 18,000 円（3,000 円×2名×3か所） 実行委員会 60,000 円（2,000 円×3回×10名） チラシ制作謝礼 5000 円	
	人件費	63,000 円	公演従事費 45,000 円（3000 円×5か所×3名） ワークショップ従事費 18000 円（3,000 円×3か所×2名）	
	材料費	37,253 円	マジック教室・魔法の本セット 22750 円 マジック教室材料費 6,417 円 ブローチづくり 8,086 円	
	交通費	3,621 円	ムーラ 2,331 円 スマイルアゴーゴー1290 円	
	その他諸経費	13,348 円	送料（チラシ・チケット・報告書）	
助成対象事業費（小計）		827,438 円		
余剰金		円		
助成対象外事業費		490,715 円	公演謝礼差額 445,763 円 駐車場代 4400 円 出演者食事 22,788 円 会議お茶 2,866 円 諸経費 3,964 円 出演者プレゼント 2,584 円 公演会場費 8,350 円	
事業総額			1,318,153 円	

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人が子どもたちへ舞台をプレゼントすることをコンセプトに3か所の地域でワークショップ、公演を5か所の地域で実施し、460名の子どもたちに無料で文化体験を届けることが出来た。 ・公演には3世代から4世代の地域の方が集い、公演をとおして交流が図れたことは、地域のコミュニティーづくりに有効であった。 ・子どもたちに文化体験が必要であるという地域の大人を増やしていくため『サポーター募集』をし、68組の理解者を得、多くの方に活動を知らせる機会となった。 ・「新宿フィールドミュージアム2014」に全ての事業を掲載することで、たくさんの方に事業を告知することが出来た。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した30代～40代の子育て世代が実行委員として当法人理事と共に主体的に事業に取り組み、「私にも出来る身近な取り組み」として達成感を得ることが出来、地域の担い手とし育っている。その子どもたちにも同じことがいえる。子どもたちも積極的に当日の準備、手伝いに関わり、地域の中で活動することの充実感を得るとともに、子どもたちを通じて地域の人や参加者とのコミュニティーが広がった。 ・今後も継続した活動にして行くため『サポーターを募集』。68組125,000円の寄付を得ることが出来た。地域の中で、子どものために何かしたいという潜在的ニーズを掘り起こし、子どもの文化体験が必要だと思える理解者・支援者の輪が広がり、格差の広がり体験が少ない子どもたちも含め、文化体験の機会を増やすことが出来る。文化豊かな地域コミュニティーが創出できる可能性が見いだせた。
費用対効果は適正であったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・作品選択は各地域の実行委員が検討し、地域のニーズに合ったより質のよいものを選出した。 ・アンケートからも95%の方から満足という評価をもらい、支援者が増やせたことを考えると適正であった。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人が子どものために何かしたいという潜在的ニーズを掘り起こし具現化するサポーター券という方法は理解しやすかったことから今後も地域の子どもたちに向けて人々の潜在的なものを掘り起こす必要性を強く感じた。地域の人々に密着した中から潜在需要を観察し、かけているものを読み取り政策に結び付けて行くことが必要である。 ・子どもたちの経済的格差による体験格差は広がるばかりで地域に根を張って継続的に文化体験活動を続けて行くことが、大切である。そのためにも当法人は市民性・社会

	<p>性のあるNPOとして透明性ある経営と体力を備え、さらなる支援者や理解者を増やして行くことが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全ての子どもたちに文化体験を！」と子どもたちがより多くの文化芸術活動にアクセスでき、そのために文化活動を企画する人、大切に思う人を増やすことが必要である。(子ども文化地域コーディネーターの育成)
理解者や支援者が広がったか。	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度は25600円の寄付であったが、今年度は68組125,000円の支援を得ることが出来た。町会ぐるみで寄付を頂き「子どもたちの笑顔が地域の宝だから！」と地域の中で、子どもの文化体験活動が必要だと思っただけの人の輪が広がった。 ・地域の大人が子どもたちに舞台をプレゼントするという形での潜在的に地域の人たちの「子どもたちの為に何かしたい」という形は、継続的に地域の子どもの文化体験が出来る良いモデルとなった。
事務局の執行体制は十分だったか。	<p>各実行委員会での実務責任を実行委員会ごとに対応出来た。理事会では、各地域での活動を理事全体で把握し、人員不足の地域への支援やスケジュール管理を行った。</p>
今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・『サポーターを募集』し、68組125,000円の寄付を得ることが出来た。25年度は全支出額の2% (24,600円)にとどまっていたが、26年度は9.7%まで財源を確保できた。来年度に向けさらなる理解者をもとめ、早期の段階からの広報活動に努め、費用の25%近くを寄付金で賄って行きたい。
その他	<p>NPO活動助成金対象事業により、会場を事前に押さえることが出来、事業計画、公演条件もよいなかで開催出来た。町会等での周知・広報においても、区の助成金事業であることで、信頼が高く、理解が求めやすかった。</p>

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。
 * 参加者の意見なども報告してください。

4 活動の成果

1) 実行委員会

①地域の実行委員会では、作品決定から、出演者への出演依頼、会場探し、チラシの作成、広報の仕方の相談、ワークショップの準備、進行、当日のスケジュール確認、会場づくり、反省、次年度に向けてなどが話し合われた。

② 理事会では、各地域の進行状況を確認し、共有協力し、各地域の取り組みの確認を、当法人で広報出来る所での協力をしながら、統一感をもって進めた。また「新宿フィールドミュージアム 2014」の広報窓口を担当した。『サポーター募集』のチラシ作成から広報、とりまとめ、報告書作成をおこなった。



2) 10月～11月 ワークショップ 区内3か所

① 【淀橋地区】10月12日(日)「大人のためのよみがたり」 時間 14:00～15:30
対象：シニア 会場：西新宿シニア活動館 出演者：杉原 徹 参加人数：大人25人
内容：絵本の読み語り「どこでもない場所」「はじめての旅」「みずいろのマフラー」及びギター・ウクレレ・バイオリンによるミニライブ



②【四谷地区】10月19日(日)「たかお晃市のマジック教室」時間11:00~12:30/
14:00~16:30 対象:幼児~低学年親子/小1~大人 会場:四谷区民センター多目的室 出
演者:たかお晃市 参加人数:大人17名/4名 子ども20名/32名
参加費 500円(材料費)

内容:午前中は幼児~2年生までの親子対象。なかよしクリップ・のびるツリー・魔法の水等
のマジックを行う。午後は小学生以上対象。7つのマジックを教わる。マジックや魔法は友だち
を「だます」ためではなく「楽しんでもらう」ためのものとマジックの精神を行う。



③【牛込地区】11月3日(月)「オリジナルロゼットブローチづくり」
時間:13:00~15:00 対象:小学生以上 会場:ゆったり~の ファシリテーター:亀山 麻
里 参加費:100円(材料費) 参加人数:大人5名、子ども13名

内容:出演者が元消防士だったことから消防のマーク→ロゼット→不要になったチラシを再利
用して自分だけのロゼットを作ろう。たくさんのチラシの中から自分の好きな部分を切り取り
作成。完成したら額に貼り、題名となぜそのデザインを選んだかみんなの前で発表した。当日
は出来た作品を飾りやスタッフ章に使用した。



3) 11月公演 区内5か所〔参加費：大人1000円 子ども 無料〕

①【落合地区】11月2日（日） 「COINN 魔法の音楽隊」

時間：14：00～15：00 場所：聖母ホーム 出演者：COINN

参加人数：大人81名 子ども55名

内容：4人組の音楽バンドがギター・ウクレレ・チェロ・ドラム・歌など色とりどりの構成で奏でるコンサート。音楽が始まると子どもたちが踊りだし、その様子を他の観客も楽しい気分で見ていた。聖母ホームの入居者の方々、その家族の方も一緒に楽しんでいた。地域公演と身近に足を運べる環境のためお孫さんを連れての参加もあり三世代、四世代での楽しめる公演になった。



②【淀橋地区】11月3日（月祝）「おはなしポロロン 徹の部屋 2014」

時間：14：00～15：30 場所：エコギャラリー新宿 出演者：杉原 徹、かずま

参加人数：大人44名 子ども24名

内容：現役保育士による素話「分福茶釜」「ぬか福と米福」「花のき村と盗人」絵本の読み語り「そっといちどだけ」「おとん」「みずいろのマフラー」及びギター・ウクレレ演奏



③【牛込地区】11月16日（日）「ムーラのひとりサーカス」

時間：1回目 13：00～14：00 2回目 16：00～17：00 場所：牛込箆笥地域センター コンドル
出演者：ムーラ 参加人数：1回目 大人42名、子ども45名
2回目 大人38名、子ども37名

内容：マジック・ジャグリング・パントマイム、高い一輪車でのジャグリング、お父さんたちの引っ張るロープの上で立ってのジャグリングなどの披露。子どもや大人もみんなが一緒に参加しムーラさんの話術と、技術で面白がり、夢中になり、笑顔いっぱいになった。



④【戸塚地区】11月23日（日）「和太鼓だよ！全員集合！！」

時間：14：00～15：00 場所：新宿区立新宿NPO協働推進センター

出演者：和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」 参加者人数：大人130名 子ども114名

内容：和太鼓演奏曲4曲、途中の体験コーナーで子どもたちが太鼓演奏体験をおこなった。和太鼓の種類の見方もあり、大人から子どもまで、和太鼓の音の迫力、演者の躍動感を食い入るように見ている。



⑤【四谷地区】11月24日（月祝）「スマイル ア ゴーゴー こういちおにいさん
のにっこりマジック」時間：15：00～16：00

場所：新宿区立四谷小学校体育館 出演者：たかお晃市

参加者人数：大人79名 子ども120名

内容：スマイルワゴンにのってこういちお兄さんが登場！その瞬間から子どもたちが引き込まれ見入っていた。子どもたちもマジックに参加。大人はマジックの種を明かそうと必死で、子どもたちは、マジックの不思議に引込まれ、あっというまの一時間だった。



子ども達も会場設営、受付などを担当。